

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和6年2月(2024年) No.698

さあ、頑張って作りましょう

課題コンは「夢」と決まる

去る1月19日、宮中でおこなわれた歌会始めで、来年度の御題を「夢」と発表されました。我がOMCも恒例に従い、来年度の題である「夢」の入ったタイトルで映像作品を作ることになります。〆切は5月通常例会日です。

さあ、「夢」になるとは夢にも思いませんでしたが、なんだか難しそうな予感が致します。

すぐに大阪夢洲南港埋立地「夢洲」が思い浮かびましたが、今は万博工事中で一般人は立ち入り禁止だと思います。東京の羽田空港あたりも確か「夢の島」といった埋立地だった記憶があります。

法隆寺の「夢殿」は近くて撮影可能でしょうが、内容をどう膨らませるかが問われましょう。「夢二の愛した街」なんて温泉地に行ってみるのもいいかも。「夢枕」、「夢見る〇〇ちゃん」、「夢物語」、「夢と消えた〇〇」、「万博・夢の跡」、「花博・夢の跡」、「宝くじに夢を託して」、「〇〇なんて夢のまた夢」、「夢舞台」、「私の夢は〇〇」、等々。考えてみたら何とかいけそうではありませんか、知恵を絞って作品を作って下さい。優秀賞は秋の公開映写会候補に上げられます。

今年の撮影会は滋賀県高島市で5月3日(金)、4日(土)

針江 生水の郷 (はりえ しょうずのさと)

楽しみな一泊撮影会は、岡本幹事、上総副幹事のもとで企画がすすめられてきましたが、ようやく本決まりとなり、要領を1月例会で発表されました。

申込は1月末現在11名(岩井、江村、岡本、上総、合原、高瀬、高田、中川、宮崎、鉄具、山本の各氏)です。非申込者で出席したい方は至急岡本幹事まで申し込んでください。

撮影会コンテストは7月通常例会で行われ、優秀作品は秋の公開映写会の候補として推薦されます。

2月例会のお知らせ

2月24日(第4土曜)13時開場・13時30分例会開始。役割担当者は開場までに準備をお願い致します。楽しい集いにどうぞお越しください。

訂正とお詫び

会長 合原一夫

先月1月号会報のトップ記事で、会報のデータ化が行われてきたのは、退会された進藤氏とありましたが、その後中川氏の前に広報を担当されていた前田茂夫氏(退会者)より指摘があり、データ化したのは進藤氏ではなく私(前田氏)ですとの事でした。ここで謹んでお詫びし、訂正いたします。前田氏には随分ご苦勞をおかけいたしました。

また、集めきれない古い会報がかなり存在していることも、改めて調べて分かりました。私が OMC に入会するまでの古い会報は、ほとんど入手できないかもしれません。

ですが 1977 年頃からのニュースはほぼ残されています。それだけでも 47 年間の長い歴史と言えます。

総会、表彰式、作品上映、新年宴会

盛りだくさんの1月第2例会

今年初の例会は1月18日(第3木曜日)午後13時30分より開催、まず総会では、合原会長より新年の挨拶、活動報告がおこなわれ今年度の活動計画では、役割分担等が提案され承認されました。会計報告は宮崎紀代子会計より説明があり、江村監査役より監査報告、拍手で承認されました。例会最多出席者及び最多出品者に会長より記念品が手渡され、無事総会を終えることが出来ました。

続いて休憩後作品上映に入り、8作品が上映されました。

新年宴会は、例会場のすぐ上の階の焼肉の店で、皆さん食べ放題の肉しゃぶに大満足の新年宴会でした。

令和6年1月第二例会

総会のあと、休憩をはさんで第二例会の作品上映に入りました。

- **運営担当**：司会 合原、書記 高瀬、YouTube 関係 江村、映写 岡本、山本、メモリー記録 中川、受付・照明 宮崎、森下の各氏
- **出席者**：岩井、植村、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、高田、中川、中村、道下、宮崎、森下、山本の15氏

上映作品(今月の書記は高瀬)

- | | |
|--------|----|
| 1. 南禅院 | BD |
| 江村一郎 | 6分 |

(作者コメント)

2022年に京都で行われた作家連の撮影で行った時のものです。当日の天気が生憎の雨で何を撮ろうと思案した結果、南禅寺発祥の地「南禅院」と水路閣周辺を撮る。撮影から1年半後に編集で南禅院の歴史を織り込み、何とか作品とした。

(書記コメント)

雨の中、蹴上インクラインから「ねじりまんぼ」を通り、南禅寺へ歩かれ、本堂や水路閣などを描写。南禅院は夢窓国師作庭の庭があり、南禅寺発祥の場所である。ともすれば南禅寺観光では見落とされがちだが、そこに焦点を当て、心象的な映像を主体に制作され、見応えのある作品となっている。この時、東京の方数人と同行していたが、南禅院を撮影されたのは作者だけだったように思います。

- | | |
|--------------|-------|
| 2. 枚岡神社お笑い神事 | BD |
| 道下敏行 | 7分23秒 |

(作者コメント)



令和5年12月23日に枚岡神社で催されたお笑い神事（注連縄掛神事）を撮影した。

（書記コメント）

最初と最後に作者が登場され、神事の案内などを語られる。作品としてやや違和感があったが、この映像はYouTubeにアップするために制作されたことを聞き、納得した。ただ宮司のシーンがユーモアを交え描かれているが、話が長く、一方、笑いのシーンはもう少し、いろいろな「大笑い」の顔を見たい感じがします。



3. 廃線跡 愛岐トンネルの秋 BD

高瀬辰雄 14分

（作者コメント）

JR中央線（当時は国鉄）のルート変更で廃線となった愛知県と岐阜県の県境にある愛岐トンネル。春と秋、年2回、10日間程だけ公開されます。1.7キロの間に4つのトンネルがあり、紅葉が美しく、テレビのワイドショーなどで紹介され、JR中央線の定光寺駅から数分で交通の便が良いことから訪れる人は多く、辺境の廃線跡に残る明治のトンネル跡というイメージにはほど遠いものでした。14分は長過ぎる、場所が地図などで分かるようにした方がよいといった指摘がありました。



4. 丹生都比売神社 花盛祭 BD

岡本至弘 9分

（作者コメント）

撮影会作品の改作です。あるコンクールに出品しましたが、入賞できませんでしたが、NHK映像制作担当審査員の詳しい講評をいただき、それに基づいて改作しました。BGMも差し替えました。



（書記コメント）

昨年4月の撮影会作品を修正された。丹生都比売神社の場所や由来、そして花盛祭をテロップとナレーションで詳しく説明されている。コンテストの講評を基に改作されたということで、終始、落ち着いた映像で丁寧に描かれている。どこを直されたのでしょうか。

5. 東京時代祭 DVD

合原一夫 11分45秒

（作者コメント）

京都の時代祭に対抗して東京にも時代祭が発足した。時代順に行列が流れてくるのは同じだが、途中、お芝居などが入ってバラエティに富んでいるのが特徴か。平成4年（1992年）撮影。



（書記コメント）

下町情緒の残る東京浅草で行われていた東京時代祭を撮影された。祭りとはいえ、行列だけだと飽きが来るが、芝居やパフォーマンスもあって変化のある内容となっている。京都の時代祭りに対抗して発足した東京時代祭も平成26年に中止され、わずか25年で幕を閉じている（ウィキペディア）。その意味では二度と撮れない貴重な映像ともいえます。

6. 山の辺の道 北道 BD

山本正夢 8分30秒

（作者コメント）

北道は南道に比べると知名度が低く、名所と言われる場所も少ない。私が歩いた時も一人も会わなかった。



(書記コメント)

山の辺の道は日本書紀にも記されている古道。石上神宮を境に北道と南道があるようだが、北道を興福寺からスタートし天理まで歩かれての撮影。北ルートは整備されたのが遅く、未舗装の箇所も多く、あまり歩く人はいないようだ。名所は少ないが、道沿いには古墳、天皇陵、竹林、池、石仏などさまざまな景色が展開し、それらを手慣れたカメラワークで描写されている。最後に万歩計を表示されている。距離 26.5 キロ、時間 6 時間 27 分、歩数 3 万 4773 歩…健脚に驚きです。



7 元気なシニアの

「気のおけない仲間達」 BD

高田幸夫 8分40秒

(作者コメント)

気のおけない仲間達と一緒に宮古島サイクリングに行って来ました。

(書記コメント)

宮古島の名所や自然の絶景をシニアの仲間の皆さんと自転車で回られた作品。宮古ブルーの海が素晴らしく、それに仲間の皆さんのタフで明るく元気なことに驚かされる。軽快なBGMとテンポの良い映像で、見ている方も楽しく、元気のもらえる作品です。

8. ほのぼの人情の町

雪国横手の梵天祭り BD

中村幸子 8分 (作者コメント)



東日本大震災翌年、秋田横手市の梵天祭りを見に行った。大雪と民謡と甘酒、駄菓子で見知らぬ旅人を暖かく迎えてくれた。人情と素朴さいっぱいこの町に感動。観光客は私だけ?でも、町民の梵天祭りに掛ける熱い情熱に圧倒した。

(書記コメント)

東日本大震災の翌年、秋田県横手市を訪ねられた。タイトルの「ほのぼの人情の町」にふさわしく、横手の町の人々のほのぼのとした表情を上手くとらえられ、テーマに沿った温かみのある作品に仕上げられている。ただ梵天祭りは映像を見る限り、若者たちが掛け声をかけ梵天を担いで町の中を歩いているだけで、どのような祭りなのか全体が分かりません。そこでYouTubeでこの祭りをみると、ハイライトは梵天を担いで旭岡山神社に駆け上がり、神社に入ろうとする時、それを阻止しようとする人たちと梵天を挟んで激しくぶつかり揉みあう、迫力のある祭りのようです。東北の荒々しい祭りとはほのぼのとした人情、その対比があれば、もっとタイトルも生きてくると思います。

1月通常例会

1月通常例会は27日13時30分より開催このところ気温もぐっと下がり最高でも7度以下の日が多いが、会場は程よい室温に保たれていてコートを脱いで着席。

- 運営担当：司会 岡本、書記 合原、YouTube 関係 江村、映写 中川、上総、メモリー記録 江村、受付・照明 宮崎、森下の各氏
- 出席者：岩井、江村、大久保、岡本、上総、合原、高瀬、坪井、鉄具、中川、道下、宮崎、森下山本の14氏

上映作品 (今月の講師は合原会長)

1. 吉野紙のふるさと(テレシネ) BD

岡本至弘 17分00秒

(作者コメント)

1984年のOMC撮影会作品です。フィルム作品をテレシネしたものです。



一泊撮影会の後、現地に一ヶ月（4回）撮り足しに通いました。フィルムの色があまり劣化してなかったのよかったです。映像作品の作り方の参考になればと持ってきました。

（会長コメント）

1984年（昭和59年）撮影とありますから40年前となりますか。当時のOMC会長は川畑健二さんと言って、ドラマ好きで、この時の撮影会は、ご自分でシナリオを書き、ナレーションもプロに吹き込んでもらった音声テープと共に、参加者全員が同じ脚本を使って一斉に撮影したものです。現録は、8ミリフィルムではできませんので別に各自小さなテープレコーダーで録音し編集の時にはめ込んだ次第。脚本は同じでも、撮影の仕方、編集等皆が違うので、ドキュメンタリー作品を作るうえで大変勉強になったことを覚えています。8ミリ作品は、こうやって作るものやと川畑会長に教えてもらっていました。確か50歳半ばで病死されてしまい、残念でした。

岡本作品も川畑脚本に忠実に沿って作られており、当時の作品としては良く出来た作品です。又和紙の伝統的な作る過程は記録としても貴重なものだと思います。懐かしの作品としての候補の一つです。

2. 母・回想と四十九日 **BD**

道下敏行 **10分29秒**

（作者コメント）

昨年10月に他界した母への回想と四十九日法要の様子を父・家族の為にまとめたプライベート映像である。

（会長コメント）

貴重なる“わが家の記録”です。これほど大勢の身内の人々に葬儀から四十九日法要、埋葬まで見送られて、おばあちゃんも幸せだったと思います。第三者に見せる作品の立場から言えば、BGMが多過ぎる事です。お坊さんがお経を読むシーン等、お経の声を活かしBGMは無くすべきです。お参りの方々のつぶやきとか雰囲気は現地音でしか伝わりません。回想シーンの処はBGMが入った方が良いけれどおばあちゃんの人柄とか思い出など字幕かナレーションで綴ると共感が作品となるでしょう。ご冥福をお祈りいたします。



3. 姫路 書写山 **BD**

上総秀隆 **6分55秒**

（作者コメント）

西国33ヶ所の御朱印集め。姫路書写山は紅葉の真っ盛り。境内を歩きまわると近所の札所迄足を延ばす時間が無くなった。

（会長コメント）

奥様とご一緒に西国33ヶ所の御朱印集めの為、姫路書写山へ行かれた時の記録。紅葉のきれいな季節で、秋を満喫された小さな旅の一つとなったことでしょう。

トップの方に奥様の上半身のカットを入れ、これから歩く主人公、という印象を見る人に伝えてほしいと思いました。



4. 東高野街道② **BD**

江村一郎 **8分00秒**

（作者コメント）

最初の高野街道は京都八幡市からで大阪府大東市野崎で終わり東高野街道②では生駒山裾に沿って東大阪～八尾と続きます。

東大阪や八尾となると地元なので、可成り思い入れがあり長くなった。石切り神社、平岡神社、瓢箪山稲荷、恩智神社などの神事を6月～8月かけて紹介しています。

（会長コメント）

東高野街道シリーズ。地元に近い所なので、可成り丁寧にカットを拾って編集されています。さすがカット一つひとつは江村さんらしいセンスの効いたカットが見られます。さて、この様な作品を関西以外の方が



見た場合、果たしてどんな理解をされるだろうか、ふと考えこみます。

やはり関西限定の作品というべく作品かも知れません。

5. 令和6年1月 恵方は東北東 BD

中川良三 12分24秒

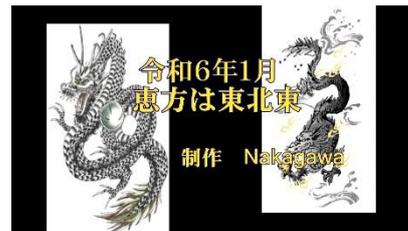
(作者コメント)

新年恵方詣でに参加、老人会の方々と初めての三社詣での記録です。ご利益があればいいのですが。

(会長コメント)

老人会行事で新年恵方詣で三社詣での記録。この2月初めにコンビニ等で恵方巻なる巻ずしをたくさん売っていて、人々が今年の恵方は東北東、などと言って食べているニュースがありましたが、神社さんとどんな関係があるのでしょうか。それらをひっくるめて恵方詣での説明をされたら、関心の高い作品になったかも。

後半の信楽の里のカットは面白いですが、主題からは離れているので別の作品にされたら如何ですか、それとも題名を変えるかですね。



6. 御香宮花傘参宮 BD

高瀬辰雄 8分00秒

(作者コメント)

京都伏見の御香宮神宮の祭は1週間にわたって、いろいろな神事が行われる。

そのうちの一つ、氏子町内がそれぞれ花笠を持って参拝するのが花傘参宮。子供から年配者まで、一生懸命、花傘を担ぎ乱舞する姿は熱いものがあります。

(会長コメント)

完全にコロナ禍前に戻った感じで、氏子たちが祭りを楽しんでいる様子がよく描かれています。大人も子供も男も女も、全員参加で時の立つのも忘れて祭りを楽しんでいました。京都はこんな祭りもあるんですね。



7. 秋祭り BD

山本正夢 10分10秒

(作者コメント)

近所の多治速比売神社の秋祭りで、だんじりが参加しています。岸和田と比べ規模も知名度も低いですが撮影者には自由に移動出来良かったです。

(会長コメント)

まさにだんじりを堪能致しました。



8. 大阪混声合唱団 BD

鉄具嘉男 7分46秒

(作者コメント)

これは作品ではありません、ある合唱団の演奏の一部です。パイプオルガンの演奏は見る機会がなかったのですが、この演奏会でありましたので紹介します。



9. 道東の旅 BD

合原一夫 7分46秒

(作者コメント) 平成14年(2002年)作

流氷の海、丹波鶴、思い出の旅だった。

